

2017年度学部共通科目

総合科学の基礎C

# 「哲学・思想の基礎」

[http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/  
shin-kokusai/philosophy/top.html](http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/shin-kokusai/philosophy/top.html)

担当

熊坂元大・石田三千雄・山口裕之

# 授業のウェブページ

[http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/  
shin-kokusai/philosophy/top.html](http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/shin-kokusai/philosophy/top.html)

授業で使ったファイルや、課題の掲示などに利用します。毎週授業後に更新しますから、毎週見てください。

- \* 徳島大学→総合科学部→国際文化コース→「授業ページ」とたどることもできます。
- \* 検索して見つけ出した場合、年度に注意してください。

# 今日の予定

- マークシートと「一言カード」の配布
- シラバスの確認
- 授業計画
- 教員紹介:「現代における哲学の意義」

# マークシートの記入要領

- あとで今日の話についての簡単な「小テスト」をします。
- 出欠確認も兼ねています。
- 代返・カンニングなどの不正をしないように。

# マークシートの記入要領

10ケタの学生番号を記入

名前

今日の日付

哲学

No

名前

月 日

10ケタの学生番号を鉛筆でマーク

小テストなどに  
使います。

ここに注意！

マーク

良い例

悪い例

Y

シラバスの確認 +  $\alpha$

## 【目的】

- 「正しく考える」ための知識や技術を、哲学的な思想を取り上げつつ学ぶ。
- 古代ギリシア以来のヨーロッパの哲学の特徴  
=「普遍的な正しさ」を求める。
- 現代の世界における「前提」となっている。
- ・・・自分たちの思考の「前提」を反省することが重要。

とりあげる具体的な話題:

1) 自由・寛容・アイデンティティ

2) 近代自然科学における「正しさの探求」

3) 倫理思想における「正しさの探求」



## 【概要】

- 哲学とは「正しい知識」を得るための方法論である。日本語で「正しさ」というと、「科学的な正しさ」(事実認識の正しさ)と、「倫理的な正しさ」という二つの意味がある。この授業では、これら二つの意味について講義する。

→担当教員は3名。

熊坂元大：環境倫理学

山口裕之：フランス近代哲学

石田三千雄：ドイツ近代哲学

## 【目標】

- 人文科学(哲学)に関わる幅広い知識の理解を目標とする。

→我々の思考の「前提」を問い直すことで、より創造的な思考ができるようになるはず。

- 日本語で論理的文章を書くことができる能力の養成を目標とする。

→自分の考えを述べる≠思いつきや感想

- 高い倫理観の涵養を目標とする。

→「倫理的であるとはどういうことか」ということまで考えてほしい。

# 「論理的文章」を書けるようになるために

- 毎回、「一言カード」にコメントを書いて提出。
- 「根拠のある意見」を書くように。
- 具体的には...
  - ×「おもしろかった」「難しかった」などの感想
  - ×「リベラリズムは間違いだと思った」
  - ×「結局、〇〇だ」
- 総合科学部学務係前のボックスに提出（月曜17時まで）

## 【授業計画】

4/14: イントロダクション: 現代における哲学の意義(熊坂, 石田, 山口)

### 第一セッション: 自由・寛容・アイデンティティ

4/21: 社会と哲学: 哲学史における「自由」(熊坂)

4/28: 異文化と寛容さ (熊坂)

5/2: アイデンティティ(熊坂)

5/12: まとめとディスカッション

(熊坂, 石田, 山口)

# 第2セッション：現代科学論の系譜 (山口)

5/19 : 自然法則とアイデア論

5/26 : 経験は真理を保証できるか

6/2 : プラナリアの記憶物質

6/9 : 因果関係は実在するか

6/16 : まとめとディスカッション:「科学の正しさ」  
をめぐって(熊坂, 石田, 山口)

# 第3セッション: 倫理的な正しさとは何か (石田)

6/23: リベラリズムの立場

6/30: リバタリアニズムの立場

7/7: コミュニタリアニズム

7/14: まとめとディスカッション(熊坂, 石田, 山口)

7/21: 授業全体のまとめ(熊坂, 石田, 山口)

7/28: 予備日

## 【成績評価】

- 毎回の授業後の「一言カード」(宿題)
- 授業中に行う小テスト
- レポートや「まとめ」授業における発表  
などを総合して評価する.

\* 6回欠席した場合は自動的に落第。

\* 得点の配分や発表とレポートの採点基準については授業中に説明する.

各担当教員による  
授業計画・問題意識など



# 第一セッション

## 自由・寛容・アイデンティティー

熊坂元大

# 第1セッション(第2～5回)

- ① 哲学史における自由(古代ギリシャ～近代初期ヨーロッパ)
- ② 寛容と多様性
- ③ アイデンティティ
- ④ まとめとディスカッション

初回の内容が、二回目以降に  
食い込む可能性大

近代社会において、自由は個人にとってもっとも大事なものの一つ、自由を尊重することが社会の美点と考えられている。

その一方で、自由はしばしば侵害・制限されるし、それを多くの人々が是としたり、自由を要求する人をエゴイストと見なすことも。

「良い自由」「重要な自由」と「悪い自由」「どうでも良い自由」があるのか？あるとすればその基準は？

- 古代ギリシャ(アテネ)の自由の位置付け  
「ソクラテスは告発に対してどのように弁明したか」
- 近代初期の自由思想1: ホッブズの思想と自由  
「自由と必然、自由と服従」
- 近代初期の自由思想2: ロックの思想と自由  
「自由と無秩序・ワガママの区別」

- 近代初期の自由思想3: 功利主義  
「豚の哲学の魅力と威力」
- 二つの自由概念  
「『～への自由』と『～からの自由』」
- 寛容と無関心、自由と規範  
「違和感や不快感を覚えさせる存在をどこまで容認すべきか容認できるのか」
- アイデンティティ  
「自分らしい＝自由に振る舞う？」

「国際化」が進むと言われる今後、日本社会も従来以上にさまざまな考え方が混在するようになる……と思われる。

自分とは異なる考え方にどう向き合うか、自分の考え方を他者にどう伝えるかということが大事に。

哲学は個別のケースに対する具体的な答えのリストを提示することはないが、答えを出すための原則や思考の道筋を整えるための学問。

# 第二セッション: 現代科学論の系譜(山口)

## 授業計画

- 自然法則とイデア論
- 経験は真理を保証できるか
- プラナリアの記憶物質
- 因果関係は実在するか
- まとめとディスカッション: 「科学の正しさ」をめぐって

# 「科学と哲学」

- 現代日本における「哲学」の一般的なイメージは…
- …「難しそう」「役に立たなさそう」「変人」「簡単なことをあえて難しく言っている」!

つまり…科学と正反対!

- 実は、「科学」のほうこそが「哲学」から派生してきた。
- 「哲学」を知らずに科学を理解しようとしても、表面的な理解にとどまってしまう。
- 科学の中には「哲学の奇妙なところ」がそのまま残っている。



# 18世紀～19世紀初頭までは、

「哲学philosophy」という言葉は「科学」「理論」というような意味で用いられていた。

- ニュートンの『プリンキピア』  
＝「自然哲学の数学的諸原理」
- ラマルク『動物哲学』、ジョフロワ・サンティレール『解剖哲学』etc.

# 「哲学」のおこり: 古代ギリシア

- 紀元前7世紀: ミレトスのタレス「万物の起源は水である」

→「**起源** Αρχή(アルケー)」への問い。  
= 現代なら「科学」と言われるような活動。

# 「哲学」という言葉

- Φιλοσοφία (philosophia)
- **プラトン**が使用(BC470~399)。それ以前は「好奇心旺盛」的な意味。

# 哲学に対する 多くの学生（日本人）の誤解

- 「正しさは人それぞれ」
- 「個人の経験によってなんでも決まる」
- 「目に見えるものが実在である」

# 正しさは普遍的

- 「哲学」と「λόγος 論理＝言語」
- 言葉はみんなに通じる。他人から習うもの。
  - 言葉は個人のものではない。
- 言葉の意味は「普遍的」。
  - 「チャウチャウ」も「柴犬」も「チワワ」も「セントバーナード」もみんな「犬」。それはなぜ？
- 「手を放したら落ちる」「落下速度 $S=9.8t$ だ」
  - 言葉で言ったとおりのことが起きる。それはなぜ？

言葉は「人間が作ったもの」ではない。

- 自然に内在するロゴス(論理・原理)がある。
- 人間も自然の一部としてそうしたロゴスを分有している。
- ロゴスを「正しく知る」ことが知識επιστήμη (episteme)。

# 知識と思い込みδόξα (doxa)

- 古代ギリシアの哲学の発想からすれば、「正しさは人それぞれ」なんてことはありえない。
  - 古代ギリシアにおいても、「ソフィスト」と呼ばれる人たちが「人間は万物の尺度」と主張したが、「哲学者」は批判した。
- 客観的根拠のある知識＝自然そのものに内在する「ロゴス」を知ることが重要。
  - 「勝手な思い込み」を主張したところで議論にならないので、「科学的に」無意味。

# 「科学」以外の知識については？

- 科学は客観的だけど、**倫理**は人それぞれ？

→人を殺しておいて「正しさは人それぞれ」なんてありえない。

→科学的な議論については古代ギリシアから学ぶべきものはほとんどないが、倫理的な議論からは学ぶことができる。



# というわけで、

- 今日の教訓：哲学や科学、さらに倫理においても自分だけの思い込み  $\delta\acute{o}\xi\alpha$  ではない「正しい知識  $\epsilon\pi\iota\sigma\tau\acute{\eta}\mu\eta$ 」を得ることが大切。
- そのための第一歩は、「自分の主張に**客観的根拠**をつけること」。
- その練習のために、毎回「授業へのコメント」を書くことが重要です。

# 哲学・思想の基礎

学科共通科目(2017年度)

倫理的正しさをどう考えるか

11～14回

(石田担当分)

第1回説明用 2016.4.15

# 倫理的な正しさをどう考えるか

(部分的な変更の可能性あり)

- 第11回：倫理的な正しさとは何か

その1：リベラリズムの立場(功利主義との対比を含む)

- 第12回：倫理的な正しさとは何か

その2：リバタリアニズムの立場

- 第13回：倫理的な正しさとは何か

その3：コミュニタリアニズムの立場

- 第14回：まとめとディスカッション

## はじめに

- ◆倫理的な正しさについて学ぶ。
- ◆正しさと善との関係について学ぶ。
- ◆倫理的な正しさについての3つの典型的な考え方を学ぶ。
- ◆社会で起こっていることや、自分が経験することを根本から考えてみる。

# その1：リベラリズムの立場 ルールズ

- 善に対して**正しさ**を優先する。
- 政治的には個人の**自由**を尊重する。
- 経済的には「**再分配**」を重視する。
- **格差是正**に取り組む。
- 宗教的には**中立**の立場をとる。

リベラルデモクラシーの基礎。

# その2：リバタリアニズムの立場

## ノージック・ロスバード

- 諸個人の経済的自由、財産権、精神的・政治的自由を極端に主張する。
- 国家には**最小機能**だけを求め、再分配(福祉政策)には否定的である。
- 国家が市場を重視した経済政策として推し進めると新自由主義となる。

# その3：コミュニタリアニズムの立場

マッキンタイア・サンデル・ウォルツァー

- リベラリズムが主張する個人の権利や正義より「善」の優位を主張する。
- 共同体(コミュニティ)の価値を重視する。
- 善き社会の形成に寄与するかぎり、宗教も尊重する。
- サンデルのリベラリズム批判
- マッキンタイアのコミュニタリアニズム
- ウォルツァーの多元的なコミュニタリアニズム

マークシートを利用した小テスト



問1. この授業の「目標」でないものは  
どれか。

- ① 高い倫理観の涵養
- ② 人文科学(哲学)に関わる幅広い知識の理解
- ③ 日本語で論理的文章を読むことができる能力の養成
- ④ 日本語で論理的文章を書くことができる能力の養成

問2. 功利主義は何の哲学として揶揄されたか。

- ① 貧乏人の哲学
- ② 豚の哲学
- ③ 羊の哲学
- ④ 狼の哲学

## 問3. 哲学と科学の関係は。

- ① 哲学は科学から派生してきた。
- ② 科学は哲学から派生してきた。
- ③ 哲学は主観的、科学は客観的。
- ④ 哲学と科学とは何の関係もない。

## 問4. リベラリズムの立場は、

- ① 宗教的にはキリスト教の立場をとる。
- ② 善に対して正しさを優先する。
- ③ 政治的には各人の平等を尊重する。
- ④ 経済的には経済成長を重視する。

## 問5. 「一言カード」には、

- ① 日々の哲学的な疑問を書く。
- ② 自分の思いを素直に書く。
- ③ 授業への感想を書く。
- ④ 根拠のある意見を書く。

マークシートを提出して  
お帰りください。

「一言カード」の宿題を忘れないように。  
月曜17時までに学務係前のボックスに提出。

# マークシートの記入要領

10ケタの学生番号を記入

名前

今日の日付

哲学

No

名前

月 日

10ケタの学生番号を鉛筆でマーク

小テストなどに  
使います。

ここに注意！

マーク

良い例

悪い例

Y